

報告第1号 令和4年度社会福祉法人石川町社会福祉協議会事業報告書

項 目	実 施 報 告
<p>1 組織運営 体制</p>	<p>1 石川町社会福祉協議会社会福祉推進協力員の委嘱 令和4年4月12日</p> <p>2 石川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の委嘱 令和4年6月 1日</p> <p>3 監査の実施 (1) 令和3年度石川町社会福祉協議会期末監査の実施 令和4年5月24日 (2) 令和4年度石川町社会福祉協議会期中監査の実施 令和4年11月15日</p> <p>4 理事会の開催 (1) 第1回理事会（出席8名）令和4年5月30日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会事業報告について ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算報告について ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会定時評議員会の開催について ・ 石川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について (2) 第2回理事会（出席10名）令和5年3月17日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専決処分事項の承認について（職員給与規程の一部改正） ・ 専決処分事項の承認について（定年後の雇用継続規程の一部改正） ・ 専決処分事項の承認について（事務局長の給与の支給に関する規定の一部改正） ・ 石川町社会福祉協議会職員給与規則の一部改正について ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支補正予算（案）について ・ 令和5年度石川町社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和5年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支予算（案）について ・ 令和5年度石川町社会福祉協議会と石川町との委託等契約の締結について ・ 石川町心配ごと相談員の選任について </p> <p>5 評議員会の開催 (1) 定時評議員会（第1回）（出席20名）令和4年6月15日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会事業報告について ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算報告について ・ 石川町社会福祉協議会理事の選任について (2) 第2回評議員会（出席22名）令和5年3月24日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支補正予算（案）について ・ 令和5年度石川町社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和5年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支予算（案）について </p>

2 調査・広 報活動	1 しあわせを高める運動対象世帯調査 (R5.4.1)							
	世帯区分	石川	沢田	山橋	中谷	母畑	野木沢	合計
	生活困難者世帯	24	1	3	5	2	4	39
	寝たきり老人	1	1	1	3	2	0	8
	独居老人	182	24	32	58	37	45	378
	日中独居老人	66	21	64	67	29	16	263
	高齢者世帯	120	24	41	73	41	35	334
	身体障がい児者	34	17	32	23	19	19	144
	知的障がい児者	4	0	2	1	4	2	13
	精神障がい児者	8	0	6	1	3	2	20
	ひとり親世帯	12	4	2	7	5	15	45
	両親のいない世帯	0	0	1	0	0	0	1
	ひきこもり・虐待等気になる世帯	5	2	0	4	0	0	11
	情報提供必要世帯 (要配慮世帯)	8	0	5	3	1	0	17
計 1, 273 世帯								
2 広報活動								
(1) 本会の予算・決算・事業及び活動状況を社協だより (年3回発行) 及びホームページへ掲載する他、町広報いしかわへ心配ごと相談日の日程を掲載した。								
(2) 町内の新聞社へ各種寄付金、赤い羽根募金、歳末助け合い募金のお知らせを行った。								
3 在宅福祉 対策	1 訪問介護事業 (ホームヘルプ事業)							
	・年間利用者数		586名					
	・年間訪問回数		6,133回					
	・年間利用料額		22,322,144円					
	2 障害者福祉サービス事業 (ホームヘルプ事業)							
	・年間利用者数		77名					
	・年間訪問回数		532回					
	・年間利用料額		1,541,920円					
	3 障害者サービス等利用計画利用者数 39名							
	年間利用料額		600,290円					
	4 居宅介護支援事業							
	(1) 介護ケアプラン年間利用者数		1,097名					
	年間利用料額		16,408,230円					
(2) 介護予防ケアプラン年間利用者数		49名						
年間利用料額		244,620円						
5 日常生活自立支援事業利用者数 10名								
年間利用回数		135回						

年間利用料額 176,400円

6 地域福祉ネットワーク事業の推進育成

- ・各地区ネットワーク委員会へ育成支援を実施した。

7 緊急連絡カードの整備

- ・緊急連絡カードの設置数 386件

8 生活支援体制整備事業（第1層コーディネーター）

介護保険法 地域支援事業 生活支援体制整備事業に基づき日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持ち生活を継続するため必要な生活支援や介護予防のための仕組みづくりを実施してきた。

コロナ禍ではあったが、日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で、生きがいを持ち生活を継続するために必要な生活支援や介護予防のための仕組みづくりを進めてきた。また、介護サービスでは補えない内容や生活上の困りごとに対して、地域の「助け合い」「支え合い」を進めていくために、各地区自治協議会福祉部会や行政と連携、支援体制等を協議してきた。

(1) 福祉部会支援

① 1層・2層定例会議（各福祉部会長合同会議を含む）9回

② 各地区福祉部会の活動状況

- ・沢田地区：健康福祉部会会議4回、移動販売「とくし丸」の運行継続、傾聴訪問活動（通年）、ボランティアによるミニディ「白鳥の会」支援のための訪問、認知症の理解を深めるための「出張オレンジカフェ」支援（2回）、サロン交流会「ボッチャ大会」事前会議並びに交流会運営、「健康寿命を伸ばそう」の取り組みを進めた。
- ・山橋地区：福祉部会会議2回、「支え合いのできる地域づくり」講演会開催のための事前会議4回、「支え合いの地域づくり」講演会 2/21、福祉部会補助サークル会議1回、補助サークルの中で支え合いの進め方等を協議した
- ・中谷地区：福祉部会2回（見守り活動の報告）、部会事業「生き・活き・元気体操教室」、地区毎訪問活動並びに役員会を実施した。
- ・母畑地区：福祉部会2回、傾聴訪問活動を実施した。
- ・野木沢地区：福祉部会2回、地域の支え合い事業（ふじわちゃん、野小子、カフェなど）推進、傾聴訪問活動を実施した。

(2) 「いしかわまち地域の支え合い通信」の定期発行 2号

「地域の見守り・支え合い・助け合い」活動の周知・普及啓発を目的とする。

(3) 町全体としての取り組みが、コロナ禍で進めにくい状況が続いていたが、次年度に向けては勉強会の開催並びに支え手となるボランティア活動の仕組みづくりについて協議した。

9 地域包括支援センター事業

地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定に必要な援助を行い、地域の保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援するために平成31年度から石川町より委託された。

(1) 指定介護予防支援事業所業務

①介護予防マネジメント事業（予防給付対象者）

介護予防支援 プラン作成85件（内訳：包括分80件、居宅介護支援事業所委託5件）

・認定を受けてもサービスを利用しないケースの状況把握訪問2件

②介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業対象者）

介護予防ケアマネジメント

プラン作成170件（内訳：包括分159件、居宅介護支援事業所委託11件）

(2) 包括的支援事業

①総合相談支援事業

○独居世帯等の実態把握及び支援

・在宅介護支援センターとの調整会議12回

・民生児童委員との情報交換会6回

・総合相談への対応（在介分も含む）相談件数1,282件（2,146件）
（新規相談203件（247件）継続1,079件（1,899件）

・ケース検討会49回（高齢者虐待48、障がい者家族対応1回）

②権利擁護事業

・権利擁護に関する相談件数247件

③包括的・継続的マネジメント

・介護支援専門員及び介護スタッフからの相談対応・支援5件 延べ32回

・町内主任介護支援専門員・管理者会議3回 参加者延47人

・個別ケースの事例検討1回、1事例12人（地域ケア会議に再掲）

④生活支援体制整備事業

・1層2層定例会議参加5回

⑤認知症総合支援事業

・認知症初期集中支援チーム員会議管内5町村で開催9回、チーム員会議ケース1件、チームの対応件数延4件

⑥地域ケア会議

・個別ケースケア会議の開催1回 参加者延12人

(3) 任意事業

①介護給付費等適正化事業

・リハビリ活動支援事業の活用2件

○家族介護支援事業

・認知症介護者交流会・介護者のつどいの開催4回 参加者延14人

○認知症高齢者見守り事業

・認知症カフェ「話・和・輪の広場」の運営支援12回 参加者延243人

・認知症地域支援関係者交流会開催 1回

・認知症相談会 1回11人

②成年後見制度利用支援事業

・関係者への制度の研修実施

③福祉用具・住宅改修支援事業

④認知症サポーター養成事業

○認知症サポーター養成講座の開催6回 受講者169人

(石川小・野木沢小・石川寿大学・沢田地区民生児童委員・一般町民2回)
(累計129回 5, 152人)

- ⑤ 各種教室等における講話・研修会の講師等、各種研修会への参加
地域密着型運営推進会議等 12回、文書による回答1回

4
低所得者
援助対策

1 各種福祉制度の利用促進

低所得者に対し、生活の安定及び自立支援のため、民生委員、県社協の協力を得て各種福祉資金の利用促進に努めた。この他、新型コロナウイルス感染症により、所得が減少した世帯に対し緊急小口資金・総合支援資金（国の貸付制度）により社協が窓口となり行った。

区 分	貸付件数	貸与額（円）
生活福祉資金	0	0
生活援助資金	4	350,000
高額療養費支払資金	0	0
緊急小口資金	5	900,000
総合支援資金	3	1,650,000

2 歳末助け合い募金義援金の配分

町民、事業所等から寄せられた義援金を理事会に諮り、行政区長や民生委員の協力を得て、次のとおり配分した。

区 分	世 帯	人 員	配分額（円）
生活困難者世帯	28	63	343,000
独居老人	47	47	517,000
父子世帯	1	3	13,000
母子世帯	28	82	362,000
合 計	104	195	1,235,000

5
心配ごと
相談事業

1 心配ごと相談実績

年間開設日数 12日

相談利用件数 20件 利用者数（男13名・女12名）

相談事項	件 数	相談事項	件 数	相談事項	件 数
財産	2	相続	5	苦情	
借金		年金		家族	
結婚・離婚	5	住宅		その他	8

2 常勤相談員による相談会

常勤相談員4名による心配ごと相談会を毎月1回開催した。

3 弁護士による相談会

大野貴雄弁護士による専門相談会を5回開設し、延べ20件の相談があった。

4 常勤相談員の研修

①大野貴雄弁護士来所の折に最近の判例等についての研修会を行った。

②心配ごと相談所石川地方連絡協議会の研修会に参加した。

6
善意の寄付・ボランティアの推進

1 善意の寄付金

区 分	件 数	金 額 (円)
遺志による寄付	162	1,770,000
指定寄付	1	10,000
合 計	163	1,780,000

2 サマーショートボランティアスクールの開催

学法石川高等学校生7名、県立石川高等学校生2名が、さくら荘及び石川共生園で夏休みの期間中入所者とのふれあい、清掃等のボランティア体験学習を行った。

3 ファミリー・サポート・センター事業

乳幼児から中学生等の児童を有する子育て中の援助を受けたい保護者を依頼会員（預ける側）、援助を行いたい会員を提供会員（預かる側）として、児童の一時預かり事業を令和元年8月に町から受託した。また、本事業を実施するにあたり昨年度に続き新規提供会員3名に計24時間の育児講習を行った。

令和4年度事業実績 99件、148名（依頼会員10名、提供会員12名）

4 ボランティア福祉協力校の育成

町内の小中3校をボランティア福祉協力校として指定し、ボランティア活動の指導援助を行った。

5 災害活動ボランティア・赤十字奉仕団活動の実施

災害ボランティアにおいては、これまで石川管内の特別養護老人ホームさくら荘、さぎ荘、よもぎ荘での草刈り、植木の剪定等の奉仕活動の実施体制を整えていたが、コロナ禍の中で実施は見送られた。また、赤十字奉仕団においてもさくら荘への毎月の生け花、夏祭り及び清掃活動等の支援をおこなっていたが、同様の理由で実施できなかった。なお、総会後に保健センター・クリスタルパーク周辺の美化活動及び献血車来町時の広報活動は計画どおり行われた。

6 傾聴ボランティア活動の実施

閉じこもりがちな高齢者等の精神的なケア及び見守り対策として、利用者宅を訪問しお話を聞く、話し相手の傾聴ボランティアを実施した。（コロナ禍の中で利用は少なかった。）（利用者4名・年間利用回数8回）

7 雪かきボランティア「いしかわ雪かき隊」の実施

自宅の除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯等で、家族や親類等からの支援が困難な概ね80歳以上の世帯へ雪かき隊員ボランティア及び職員により除雪活動を2回行った。

（雪かき隊員登録者：学石校生177名、県石校生1名）

8 長寿会連合会

高齢者の健康維持と生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、町内22単位老人クラブ（会員数805名）の連合組織である石川町長寿会連合会事務局を担当し、これまで各種ニュースポーツ大会、長寿会報発行（年2回）を行ってきたが、今年度も新型コロナウイルス感染症防止のため活動を縮小した。

7 その他の 福祉対策	1 福祉活動団体の育成のため下記の団体等に助成を行った。 (単位：円)			
	福祉団体名	助成額	福祉団体名	助成額
	身体障害者福祉会	134,000	手話サークル太陽	45,000
	手をつなぐ育成会	45,000		
	2 児童福祉対策として、当町集会所広場の鉄棒の塗装を行った。			
	3 老人福祉対策として、新田ふれあいセンター・塩沢農業構造改善センター・野木沢自治センターへ洗砂とアルミ縁台、中谷自治センターへ山砂を支給した他、旧南山形小学校グラウンドへ山砂、旧中谷第二小学校グラウンドへコート整備器具や洗砂、当町集会所広場へ洗砂を支給した。			
	4 町民、行政区長、事業所、福祉団体等から協力を得て共同募金運動を展開した。			
	・赤い羽根共同募金額	2,265,319円		
	・歳末助け合い募金額	1,796,875円		
8 財源の確立	1 社協全世帯加入を促進し、各行政区長の協力により会員会費の自主財源の確保に努めた。			
	2 補助金、委託金により財源の確保に努めた。			
9 その他	1 研修会、各種講習会へ積極的に参加し、職員の資格取得や職員の資質及び技術の向上に努めた。なお、コロナ禍の中で感染対策のため研修会や講習会の大半はインターネットによるオンライン形式で行われた。			
	2 職員の健康管理のため、各種健康診査を実施した。			